

大代

婦人会だより

No.181

H29.1.13

災害のない年に



婦人会長 佐藤京子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様には笑顔の年明けをお迎えのこととお喜び申し上げます。

東京高山会の皆様、関西高山会の皆様、大代町の皆様のお陰をもちまして昨年の行事を無事終えることができました。心より御礼申し上げます。

さて、今回で181号の婦人会だよりは、昭和53年4月に（武田絹枝会長、渡綾子文化部長）第1号が生まれました。1号から37号迄は鉄筆を持つ手も肩にひびき肩が凝るのを我慢しながらの作業で、ガリ版ずりは紙がずれるのを直す作業もありと書かれ、58年3月からはタイプに変わり、113号からは公民館（現在のまちセン）に移ったと記されています。平成2年の婦人会だよりには、58才の秋、思いついたオートバイに乗れたら便利だろうなあに続き、

書かれた文章は、若い奥さん達が乗っておられるのを見て私も年はとついても人のやれる事なら私にも出来ない事はないと思ひ、八反田橋の所迄歩いて帰り、又町の方へ引き返し、主人の店に行き「中古車があれば練習するから持って帰って」と頼むと主人は「自転車にも乗らない者がオートバイなんか、それに免許もよう取らん。」と言って取り合ってくれませんでした。さうざん頼んでやっとなんか持って帰ってくれました。そして無事に免許も取れ農業に疲れたなあーと思つた時にはオートバイにまたがり200〜300mも走つたら「あーらくだなー、気持ちがいいな。」と疲れも忘れ長生き出来そうな程になります。と、書かれてありました。「あー、それでスカーフを巻いて風を切るように走っておられたのだ。」と思ひ出されます。私も20代で結婚してオートバイに乗りたくて主人に中古を持って帰ってもらい練習をしましたが、乗れずじまいでした。60才になった今、何事も控えめにと考えてまいりましたが、この文章に明るさを頂きました。婦人会だよりがあればこそのお陰です。本年は大代の地にも、全ての地域においても、災害のない年になりますようにご祈念を致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

近況報告

JAしまね石見銀山地区本部

企画推進課 山根むつみ

突然の原稿依頼にさて何を書いて良いのやら・・・

女性部の皆様には日頃からJA女性部活動にご協力いただきありがとうございます。若かつた私もJAに入組して32年が経とうとしています。自称箱入り娘がこれまでやってこれたのも皆様のご協力あつてのことと感謝しております。（お願いごとが有る時ばかりお邪魔して本当にごめんさい）

大代幼稚園・大代小学校と通つていた娘二人も成人式を終え、長女は今年から社会人、次女も春から社会人となる予定です。そんな娘たちを私に代わり育ててくれた母も亡くなつて6年経ちました。無くして分かる親の有りがたさ。時間の経過とともに、もつと親孝行しておけば、と事あるごとに思ひます。お陰さまで父はすこぶる元気で、めでたく88歳米寿を迎えました。女の子は父親に似ると幸せだとか!? 父と私のかかりつけ医がいつしよで月1回私が受診すると、先生が益々お父さんに顔が似てくるねといつも笑つて言われます。（何故そんなに笑っているのかしら）今まで確かに母に似ていると言われたことが無い私。さぞ幸せなので

しよう・・・。父によく似たむつちゃんですが、これからも変わらずお助け下さい。

★私達JA女性部をご指導頂いています本郷自治会の山根むつみさんに、短い時間の原稿依頼にも拘らず心良く引き受けて頂きました。厚く御礼申し上げます。

初めて福祉弁当作りに参加して

八反田支部 坂根絹枝

11月6日(日)朝8時からまちづくりセンターへ福祉弁当作りに行きました。私は初めての参加で、右原・八反田支部の全部で8名の当番が厨房に集合です。役員さんから「お早うございます。美味しいお弁当を作りましょう。」と挨拶がありました。

今日の献立表と調理する係とが提示されていて、すぐさまそれぞれの調理場に行きました。私は初めての緊張感の中、天ぷらを揚げることになりました。また、隣ではお米をといで忘れないように「スイッチ」の確認の声がありました。

そしてみんなで一生懸命協力して

次々に料理が出来上りました。最後の盛り付けが終る頃には、福祉委員さんが取りに来られ、やっと完成です。

作り終えて皆さんのホッとした安心の表情のなかに、温かさを感じてチームの一員に加えさせていただいたことを感謝しています。お世話になり有難うございました。本年もよろしく願い致します。

JA料理教室に参加して

右原支部 斎藤康子

12月8日、まちセンで「家の光」記事活用並びにJA料理教室が開催され18名の会員さんと一緒に参加しました。

最初は家の光記事活用で、頭の体操のクロスワード、レインボー体操をして、ゲーム「ハイ・イン・ドン」をしました。二人一組のゲームで頭と手を使う簡単な様でなかなか頭と手が動いてくれなくて、大笑いの中、頭と体を使いました。

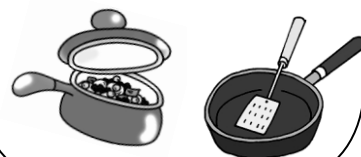
料理教室は、JA企画推進課の松浦菜摘子さんのご指導のもと*白いご飯*鮭のオリーブオイル煮*かぶのナムル*サツマイモのスイートポタージュ



を作りました。私の班は、オリーブオイルをたっぷり使って生鮭の切り身を弱火で煮るとい料理でした。鮭を煮るとい事は今まででしたことがなく、オリーブオイルを使う料理は新鮮でした。どの班の料理もおいしく出来上がり、会食となりました。

頭と体を使った後のごちそうは、どれもおいしく、話はずみとでもリフレッシュしたひとときでした。

皆さんも次の機会には参加してみませんか。楽しいですよ。



楽しく過ごした家の光大会

上市支部 横田美恵子

今年は午前中に開催され、「あすてらす」の会場へ入ったら、座る場所が指定してあり、「ひえーびっくり！」それ

も一番前の席です。仲良く並んで、今日の資料の点検。お土産の卵も早々と頂いて感謝です。

開会の挨拶など着々と済んで、受賞された3人の小学生の作文発表があり、子供たちのすばらしい感性に感動しました。

世界遺産認定10年と言う事で、石見銀山ガイドの会会長の足立聖氏の講演がありました。「ガイドと一緒に歩いて下さい。いろんな事が発見できますよ。」まさにそのとおり。

大森だけにある銀の鉱脈の上に咲く白い花(クサンハタザオ)の話など聞いたこともなく、これまで何度も大森を訪れる機会がありました。今回の講演を聞きながら、新たに発見出来た事が多々ありました。

また旬彩工房「きれんげ」代表の神谷栄子氏の講演を聞いて、元気をもらい、そして最後のアトラクションでは、大代支部の佐藤会長による司会進行もバッチリで、とっても面白くて楽しかったです。

終了後、昼食を求めて転々とさすらいながら、やっと見つけて食べた昼食も美味しかったし、楽しく親睦を深めた一日でした。皆さん次回と一緒に参加してみませんか。

私の近況報告 ① 母とお正月

川上支部 岩田律枝



「婦人会だより」の原稿だから婦人会活動について書かなくてはいけないのかもしれないが、文化部長さんから「何でもいいから」と言われ、その言葉に力を貰って、たまには変わった作文もあつていいのではと勝手に思いペンを取った。

「もういくつ寝るとお正月」と指折り数えて正月を待った記憶もないが、正月前には母が忙しく動く姿が思い出される。私の一番の楽しみは、正月の買い物に出掛けると何か一つ私の物を買って来てくれる事だった。ある年は皮付きの「ぶくり」高下駄を買って来てくれた。それが嬉しくて、一月に学校が始まると履いて行きたいのだが川上の道は雪が多くて春が来ないと履いて行けない。その時の悔しさを正月が来ると思い出す。

正月には豆腐作りと餅搗きをした。豆腐作りは前日に大豆をかして、豆腐作り当日は朝早くからかしておいた大豆を石臼で碾いた。それを煮て木綿の袋で漉して「にがり」を入れ豆腐箱に

流し込んだ。長さ十一〜二センチ、横五センチ、高さ十センチ位の大きさで、それが十二丁出来る大きな箱だった。大豆の香りと甘みのある出来立ての温かい豆腐をわさび醤油で食べるのは最高だった。

餅搗きの日も、朝早くから餅米蒸しにかかっていた。餅米一斗、その上に「とうきび餅」を牛に食べさせる餅として搗いていた。杵搗きだからまだ粒が残っていた。長さ十五〜六センチ、高さ三〜四センチ、巾は四〜五センチ位でかまぼこ型にした餅だった。少しは人も食べる様に丸餅もあった。それを「がに餅」といつていた。今思うに丁度沢蟹の様な色をしていたからその名がついたのかなと私流に解釈している。きび餅等なくなつた今、焼いて食べたら香ばしくておいしいだろうなと時々思い出す事がある。

父は餅が大好きで、母はあまり好まなかった。父が餅を食べたくなると、母に遠まわしにうたいかけるのである。母が私に愚痴をこぼした事がある。それでも餅搗きの用意をして父に食べさせていた。夫婦間の小さな愛情を感じ一人ほほえんでいる。

豆腐作りも、餅搗きも準備から終わるまで全部母の仕事。搗くだけが父の仕事だった。忙しく動いていた母の姿

が忘れられない。

私も母の逝った年をもうとつくに越えている。老、病、死、通らなければならぬ道。頑張り過ぎず、自分を甘やかせ過ぎず、我慢し過ぎず年齢相応に体を動かして残り少ない人生をしつかり生きたい。

眼裏に 父母の笑顔や お元日

私の近況報告②

下市支部 原田由久子

暑い暑いと言っていた夏はどこへ行ったのでしょうか？ 九月は雨、十月十一月は汗ばむ日もあり今は寒い寒いとストーブをつけている今日です。

皆様御存知と思いますが西本願寺では伝灯奉告法要が勤まっております。院家さんは全国海外の御門徒さんをお迎えすべく本山に勤めております。

ご院家さんが本山でがんばっているのだから微力ながら私も大家でがんばらなければと気負いもあつたのでしよう。私は常日頃健康で丈夫だと自負しておりますが九月下旬突然胃に不快感を覚えトイレにかけ込みました。それからしばらくトイレの人になってしまいました。幸い里帰りしていた二女の素早い判断で病院での手当を受け無事帰ってきました。近所の方に助けられ本当にありがとうございました。

夏の疲れが秋に来ると聞いていましたが・・・確かに七月、八月、九月は何かと忙しい日々を送っていたように思いました。きつと少し休んでいいよと言われたとの思いで早寝（二女がもう十時だから寝ればと監視しています。）早起きはもちろん、きちんと食事して健康的な生活を送っています。皆様どうぞ健康に注意してお元気で過ごして下さい。

俳句

あすなろ句会

榎 花田時子

初暦予定の印つけてあり今年又同じ顔ぶれ初句会

下市 今田文子

孫書きし似顔絵並べ初笑い幼等の正座で受くるお年玉

川上 岩田律枝

独り居の七種粥を炊きにけり平凡な日々を願ひて初句会

榎 柿丸寿枝

無駄多き日々の仕合せ小豆粥師の絵描く色紙頂く初句会

お知らせ

JAしまね女性部からの報告

島根県1JAに伴い、県内11の女性組織協議会も昨年10月20日の臨時総

会において一つになり、名称も「JAしまね女性部」と変更になりました。



JAしまね女性部 部長 長島千代子さん
JAしまね石見銀山支部部長 森脇岸江さん

皆さんよろしくお願ひ致します。

書初め展がまちセンターにて開催中

1月17日から1月末日までまちづくりセンターにて展示しております。皆さんの力作をご覧下さい。

第68回大代婦人会総会の案内

日時 3月5日(日) 9時～

会場 まちづくりセンター集会所

沢山の皆さんの参加をお待ちしております。

お礼

埼玉県 今田 潔様

横浜市 田中憲経様

東京都 市原幸文様

御芳志を頂き有難うございました。

